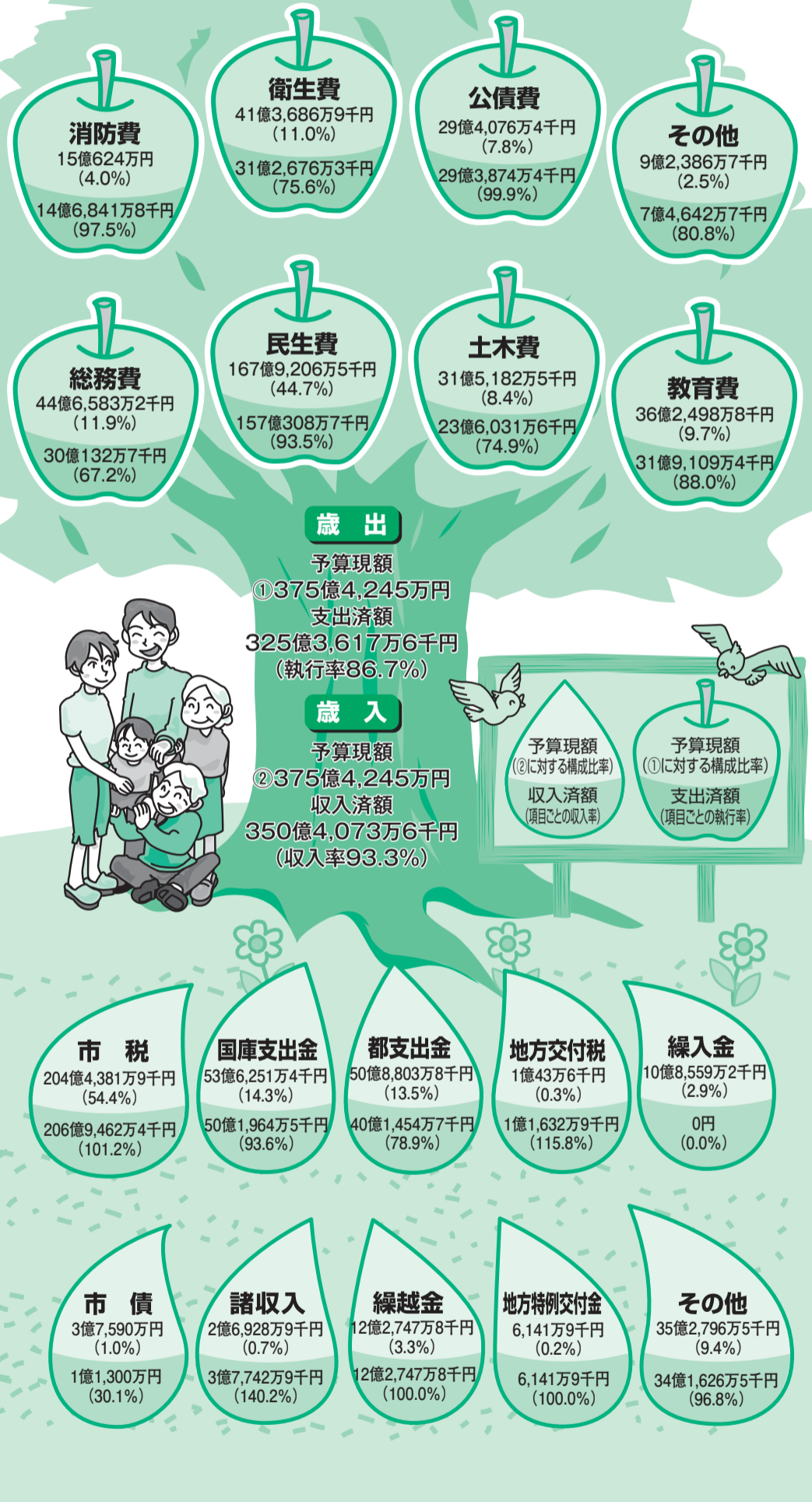


平成26年度 下半期

財政状況のあらまし

最終予算額 593億3,250万円

図1 一般会計の執行状況 平成27年3月31日現在



市では、皆さんから納めていただいた市税をはじめ、地方譲与税や国・都からの補助金および交付金、また、市債などの財源がどのように使われているか、市民の皆さんにその内容をお知らせするとともに、市政運営に一層のご理解とご協力をいただくため、毎年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況を公表しています。

今回は、平成26年度下半期（平成26年10月1日～27年3月31日）の財政状況についてお知らせします。
問合先 財政課財政係 ☎042-387-9802

自律した 行政経営を めざして

平成26年度予算の編成に当たっては、第3次行財政改革大綱を強力に推し進めることにも、これまで以上に徹底したコスト意識のもと、全ての事務事業について例外なく抜本的に見直すとともに、行政診断結果および行財政改革推進市民会議から提出された「平成26年度予算編成に対する緊急提言」を重く受け止めて、限りある全ての行政経営資源の最大限の活用を基本とし、「選択と集中」による全庁をあげた取り組みにより、市民満足度の一層の向上をめざす

予算としました。しかし、国内景気がいまだ回復途上にあることなどから、市税収入の大幅な増加を見込むことは難しく、依然として厳しい財政運営となりました。

今後においても財政規律を緩めることなく、多様化・高度化する市民ニーズに的確にこたえるため、より一層行財政改革を推進していきます。

なお、平成26年度の最終予算額は、一般会計、特別会計を合わせて593億3,250万円となり、前年同期と比べて、1・3%の減となりました。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、学校施設の改善や改修、道路の整備、緑地・公園用地の取得、集会所などの建設や改修、教育や福祉、ごみ処理など市が行う事業の大部分を賄う会計です。

この会計の平成26年度下半期の予算現額は、375億4,245万円、前年同期と比較すると4・2%の減となりました。

その執行状況は、歳入では、収入率93・3%、歳出では、執行率86・7%です。（図1）

特別会計

市には、特定の事業を行うため、一般会計とは別に、国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計があります。

これらの特別会計の予算現額を前年同期と比較すると、国民健康保険が4・4%、介護保険が4・1%、後期高齢者医療が4・3%それぞれ増加し、下水道事業が0・7%減少しました。（左下表）

市債

公共施設の建設などを積極的に進めていくうえで必要な財源として、国や都、金融機関などから長期にわたって借り受ける財源を市債といいます。

市債の現債高は、27億2,467万2千円となっています。これを目的別に見ると32・0%を臨時財政対策債が占め、次いで30・5%が公園等の整備の都市計画事業、9・4%が文化センターの取得、5・6%が下水道の建設および小中学校等義務教育施設の建設、4・9%が減税補てん債、4・7%が道路の整備、0・4%が臨時税収補てん債となっています。市民一人当たりで見ると、25万2千円の借金があることになり、これを前年同期と比較すると、2・4%の減となります。（図2）

市有財産

市が保有している財産には、庁舎や学校などの土地、建物、そのほか、物品や基金など多くの財産があります。（図3）

市有財産の現在高は、86億3,300万4千円となり、前年同期と比較すると2・5%の増となりました。

一時借入金

一時借入金は、歳出予算で定められた経費を支出するとき、不足する現金を補てんするため、短期的に借り入れる現金をいい、出納閉鎖日（5月31日）までに返済しなければならぬことになっています。

平成26年度の下半期は、一時借入金はありません。

特別会計の執行状況 (平成27年3月31日現在)

区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	107億7,670万9千円	99億5,275万7千円	92.4%	97億5,946万8千円	90.6%
下水道事業	14億2,528万3千円	13億5,092万9千円	94.8%	11億7,076万3千円	82.1%
介護保険	71億9,108万8千円	67億6,095万7千円	94.0%	63億5,242万3千円	88.3%
後期高齢者医療	23億9,697万円	23億7,667万6千円	99.2%	23億7,278万2千円	99.0%